

令和5年7月から

# 带状疱疹予防接種費用の半額を助成します

北竜町では、带状疱疹の発症・重症化の予防のために、以下のとおり带状疱疹予防接種費用の半額を助成します。

## 助成対象者

北竜町民で、接種時に**50歳以上**の方

※助成が受けられるのは生涯に1度限り(いずれかのワクチンのみ)となります。

※令和5年7月1日以降の接種より対象となります。

## 実施医療機関

●北竜町立診療所(Tel34-2331)

診察時間:9:00~12:00 13:00~17:00 月~金曜日

※接種には事前予約が必要です。必ず予約と接種可能日をご確認の上受診をしてください。

※診察時間終了30分前には受付を済ませてください。

## 助成内容

带状疱疹予防接種は以下の2種類があります。※助成が受けられるのはいずれかのワクチンのみとなります。

ワクチンの種類	带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)	水痘ワクチン(生ワクチン)
接種回数	2回(2か月をあけて2回接種)	1回
自己負担額	<b>1回 11,500円</b> (2回で計23,000円) ※2回で計46,000円のうち、町で半額を助成します。	<b>3,750円</b> ※7,500円のうち、町で半額を助成します。
支払い方法	上記の自己負担額を、町立診療所窓口でお支払いください。	
接種方法	筋肉内注射	皮下注射
発症予防効果	各年代とも90%以上の予防効果	概ね40~60%の予防効果
効果持続期間	8年後で84%、10年後も70%以上の効果が持続	概ね5年間

## 北竜町立診療所以外の病院で带状疱疹ワクチン・水痘ワクチンを受けた方へ

町立診療所以外の病院で带状疱疹ワクチン・水痘ワクチンを受けた際は、費用の半額を償還払いにて助成します。(但し診療所での自己負担額が助成の上限となります)

医療機関で接種費用をお支払いした後、以下のものを揃えて住民課窓口まで申請下さい。

- ・医療費明細書など予防接種が確認できるものの写し
- ・接種費用にかかる領収書
- ・振込先の口座がわかるもの(通帳・キャッシュカードなど) ※7月1日以前の予防接種は助成対象となりません。

## その他

・带状疱疹予防接種に関する問合せ・ご相談(2つのワクチンの違いや助成方法など)は、

**住民課保健指導係(Tel34-2111)**までご連絡ください。

・町立診療所での带状疱疹予防接種の予約は、診療所または住民課保健指導係にて受け付けます。

## 带状疱疹予防接種、費用の助成に関するよくあるご質問



- Q** 今回水痘ワクチンを接種した後、5年後に带状疱疹ワクチンを接種する時には助成の対象となりますか。
- A** できません。どちらか1種類のワクチンを、生涯に一度助成します。将来ワクチンの追加接種を行う場合は主治医と相談の上、自費で接種をして下さい。

- Q** 過去に自費で带状疱疹ワクチンを接種したことがあります。今回接種する場合は助成の対象になりますか。
- A** なります。一度も助成を受けたことがない方は、接種歴にかかわらず助成対象となります。

- Q** 予防接種救済制度の対象になりますか。
- A** 带状疱疹予防接種により、重篤な健康被害（入院を必要とする程度の疾病や、日常生活が著しく制限されるほどの健康被害）が発生した場合は、「独立行政法人医薬品医療機関総合機構法」に基づく救済を請求することができます。

- Q** 過去に带状疱疹にかかっていますが、带状疱疹ワクチンは接種できますか。
- A** 接種できます。一度かかった方でも、免疫力が低下した時に再発する可能性があり、ワクチンで予防をすることが効果的です。ただし带状疱疹を発症している場合は、症状が軽減するまでワクチン接種を延期すべきとも言われていますので、その場合は主治医と接種時期をご相談ください。

- Q** 带状疱疹はうつりますか？
- A** 带状疱疹は、自分の体内に潜伏しているウイルスが原因で発症するため、带状疱疹がうつることはありません。ただし水ぼうそうの免疫を持たない方は、带状疱疹のウイルス感染により水ぼうそうを発症することがありますので、水ぼうそうにかかったことのない子どもや免疫力が低下する病気になっている方に接触するのは避けた方がよいと考えられています。

## 带状疱疹について

水ぼうそう罹患歴のある方が免疫が低下した際に、水ぼうそうのウイルスが活性化し、皮膚にピリピリとした痛みを伴う発疹などの症状がでます。皮膚症状が治った後も、带状疱疹後神経痛と呼ばれる痛みが数ヶ月続く場合もあり、日常生活に影響を及ぼすこともあります。50歳から発症率が上がり、80歳までには3人に1人が発症すると言われています。

日本の成人は9割以上が带状疱疹ウイルスを持っていると言われており、誰もが発症する可能性がある病気です。带状疱疹の予防には、免疫力を低下させないよう日々の体調管理に加え、带状疱疹予防接種を接種することで、带状疱疹の発症や、かかっても重症化を予防する効果が期待できます。

带状疱疹予防接種は、予防接種法に基づかない任意の予防接種となります。

予防接種による効果や副反応、健康救済制度などについて理解した上で接種をしてください。

